

教材名	学習指導のねらい	評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
毛筆の学習が始まるよ 学習の進め方 1 はじめの学習 1 毛筆用具の名前と、 おき方やあつかい方 2 よいしせいと筆の持 ち方 3 筆の「ほ」のやわら かさ 4 力入れ方（筆圧） 5 あとかたづけ	○1年間の学習内容や学習 の進め方について知り、書 写学習に対する意欲をもつ ことができる。 ○用具の扱い方や筆の持ち 方について知り、よい姿勢 や持ち方を意識して書くこ とができる。 ○筆の穂の柔らかさや筆圧 を意識して、いろいろな太 さの線を書くことができ る。	B ：毛筆で学習する意味や学習の進め 方について理解している。 用具の扱い方、よい姿勢、筆の持ち方 を理解している。 用具の扱い方、よい姿勢、筆の持ち方 が身についている。	B ：毛筆で学習する意味や学習の進め 方の流れについて考えている。 用具の扱い方、よい姿勢、筆の持ち 方、筆の扱い方について考えている。	B ：毛筆書写に関心をもち、取り組も うとしている。 用具を丁寧に取り扱い扱っている。 よい姿勢、筆の持ち方を身につけよう としている。 他の書写場面でも、よい姿勢、筆の持 ち方で書こうとする意識をもっている。
		B ：穂の柔らかさと筆圧について知っ ている。 筆圧に気をつけて、いろいろな太さの 線を書いている。	B ：筆の穂の柔らかさや筆圧について 考えている。	B ：筆の穂の柔らかさや筆圧を意識し て、いろいろな線を書く活動に組み 組もうとしている。 他の書写場面でも、筆の穂の柔らかさ や筆圧を意識して書こうとする意識を もっている。
2「横画」の筆使い 『二』	○「横画」の筆使い（始 筆・送筆・終筆）について 理解することができる。 ○「横画」の筆使いに気 をつけて、字形を整えて書く ことができる。 ○「横画」の書き方を確 かめて、硬筆で字形を整えて 書くことができる。	B ：「横画」の筆使いについて理解し ている。 「横画」の筆使いに気をつけて書いて いる。	B ：「横画」の筆使いについて考えて いる。	B ：「横画」の筆使いに気をつけて、 正しく書こうとしている。 他の文字や硬筆でも「横画」に気を つけて書こうとする意識をもっている。
3「たて画」の筆使い 『土』	○「たて画」の筆使い（始 筆・送筆・終筆）について 理解することができる。 ○「たて画」の筆使いに気 をつけて、字形を整えて書く ことができる。 ○「たて画」の書き方を確 かめて、硬筆で字形を整えて 書くことができる。	B ：「たて画」の筆使いについて理解 している。 「たて画」の筆使いに気をつけて書いて いる。	B ：「たて画」の筆使いについて考え ている。	B ：「たて画」の筆使いに気をつけ て、正しく書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、「たて画」に気 をつけて書こうとする意識をもっている。
【知りたい 文字の世界】 筆について知ろう	○さまざまな筆があることを 知り、興味・関心を高め ることができる。			B ：筆および筆で書くことに関心を もっている。 ふだんの授業においても、筆を大切に 扱う意識をもっている。
4「はらい」の筆使い 『大』	○左右の「はらい」の筆使 いの違いを理解することが できる。 ○左右の「はらい」に気 をつけて、字形を整えて書く ことができる。 ○「はらい」の書き方を確 かめて、硬筆で字形を整えて 書くことができる。	B ：左右の「はらい」の筆使いの違い について理解している。 左右の「はらい」の筆使いに気をつけ て書いている。	B ：左右の「はらい」の筆使いについ て考えている。	B ：左右の「はらい」の筆使いに気 をつけて、正しく書こうとしている。
<こう筆の学習> 「はらい」	○「はらい」の方向を理解 することができる。 ○「はらい」の方向に気 をつけて、硬筆で字形を整えて 書くことができる。	B ：左右の「はらい」の違いについて 理解している。 左右の「はらい」の方向の違いに気 をつけて書いている。	B ：左右の「はらい」の方向の違いに ついて考えている。	B ：左右の「はらい」の方向に気 をつけて、正しく書こうとしている。 「はらい」を含む漢字や語句を書いて いる。
【レッツ・トライ】 はがき一暑中みまい	○はがきの形式を理解し、 文字の大きさや行の中心に 気をつけて書くことができ る。	B ：文字の大きさや行の中心の揃え方 について理解している。 はがきの形式に従って、文字の大き さに気をつけて書いている。	B ：はがきの形式に従って丁寧に書く 方法について考えている。	B ：はがきの形式を理解し、丁寧に書 こうとしている。

教材名	学習指導のねらい	評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【レッツ・トライ】 ①原こう用紙—セーフティ教室の作文 ②カード—てんらん会作品のカード	○原稿用紙の書き方（行頭のとり方や、まず目の中の書く位置）を理解することができる。 ○文字の大きさや配列に気をつけて書くことができる。 ○他教科の学習のなかで、文字の大きさや配列に気をつけて書こうとする意欲をもつことができる。	B ：原稿用紙の書き方と、展覧会作品のカードの書き方について理解している。 文字の大きさと、まず目の中の書く位置に気をつけて書いている。	B ：原稿用紙の書き方と、展覧会作品のカードの書き方について考えている。	B ：原稿用紙の書き方に気をつけて書こうとしている。 展覧会作品のカードの書き方に興味をもっている。 他教科の学習においても、原稿用紙の書き方や文字の大きさに気をつけて書こうとする意識をもっている。
5「おれ」と「はね」の筆使い 『力』	○「おれ」と「はね」の筆使いについて理解することができる。 ○「おれ」と「はね」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○「おれ」と「はね」の書き方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B ：「おれ」と「はね」の筆使いを理解している。 「おれ」と「はね」の筆使いに気をつけて書いている。	B ：「おれ」と「はね」の筆使いについて考えている。	B ：「おれ」と「はね」の筆使いに気をつけて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、「おれ」と「はね」の筆使いに気をつけて書こうとする意識をもっている。
＜こう筆の学習＞ 「おれ」と「はね」	○「おれ」と「はね」の方向を理解することができる。 ○「おれ」と「はね」の方向に気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B ：「おれ」と「はね」の筆使いについて理解している。 「おれ」と「はね」の方向に気をつけて書いている。	B ：「おれ」と「はね」の方向について考えている。	B ：「おれ」と「はね」の方向に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも「おれ」と「はね」の方向に気をつけて書こうとする意識をもっている。
6 ひらがなの筆使い 『つり』	○平仮名の筆使いを理解することができる。 ○平仮名の筆使いに気をつけて書くことができる。 ○平仮名の書き方を確かめて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B ：平仮名の筆使いについて理解している。 平仮名の筆使いに気をつけて書いている。	B ：平仮名の筆使いについて考えている。	B ：平仮名の筆使いに関心をもっている。 他の文字や硬筆でも、平仮名の書き方に気をつけて正しく書こうとする意識をもっている。
＜こう筆の学習＞ 筆順と字形	○筆順のきまりを理解し、字形を整えて書くことができる。 ○筆順のきまりを、他の文字でもあてはめて書くことができる。	B ：筆順の原則を理解している。 筆順の原則に従って、正しく書いている。	B ：筆順の原則について、他の文字にもあてはめて考えている。	B ：筆順の原則に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも、筆順の原則に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【レッツ・トライ】 ①文化 — 俳句	○漢字と平仮名の大きさや、行の中心のそろえ方について理解することができる。 ○漢字と平仮名の大きさや行の中心に気をつけて、配列を整えて書くことができる。	B ：漢字と仮名の大きさや行の中心のそろえ方について理解している。 漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて書いている。	B ：漢字と仮名の大きさや行の中心のそろえ方について考えている。	B ：漢字と仮名の大きさや行の中心のそろえ方に気をつけて書こうとしている。 書写の授業以外でも、漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【レッツ・トライ】 ②手紙—お店見学の おれじょう	○手紙の形式を理解し、文字の大きさや行の中心に気をつけて書くことができる。	B ：文字の大きさや行の中心の揃え方について理解している。 手紙の形式に従って、文字の大きさに気をつけて書いている。	B ：手紙の形式に従って丁寧に書く方法について考えている。	B ：手紙の形式を理解し、丁寧に書こうとしている。
7 「曲がり」と「おれ」の筆使い 『ビル』	○「曲がり」と「おれ」の筆使いの違いを理解することができる。 ○「曲がり」と「おれ」の筆使いに気をつけて、字形を整えて書くことができる。 ○「曲がり」と「おれ」の違いに気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B ：「曲がり」と「おれ」の筆使いについて理解している。 「曲がり」と「おれ」の筆使いに気をつけて書いている。	B ：「曲がり」と「おれ」の筆使いについて考えている。	B ：「曲がり」と「おれ」の筆使いに気をつけて書こうとしている。 他の文字や硬筆でも、「曲がり」と「おれ」の書き方に気をつけて正しく書こうとする意識をもっている。
＜こう筆の学習＞ 「曲がり」と「おれ」	○「曲がり」と「おれ」の違いを理解することができる。 ○「曲がり」と「おれ」の違いに気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B ：「曲がり」と「おれ」の違いについて理解している。 「曲がり」と「おれ」の違いに気をつけて書いている。	B ：「曲がり」と「おれ」の違いについて考えている。	B ：「曲がり」と「おれ」の違いに気をつけて書こうとしている。 他の文字でも「曲がり」と「おれ」に気をつけて正しく書こうとする意識をもっている。

教材名	学習指導のねらい	評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
＜こう筆の学習＞ 文字の組み立て方	○いろいろな文字の組み立て方について理解することができる。 ○文字の組み立て方に気をつけて、硬筆で字形を整えて書くことができる。	B ：左右の幅の違い、上下の高さの違い、中と外の組み立て方について理解している。 左右・上下・中と外の組み立て方に気をつけて書いている。	B ：左右の幅、上下の高さ、中と外の組み立て方について考えている。	B ：いろいろな文字の組み立て方に気をつけて書こうとしている。 他の文字でも左右・上下・中と外の組み立て方に気をつけて正しく書こうとする意識をもっている。
書きぞめ 『正月』 『友だち』 小筆で書こう	○床の上や立って書くときの姿勢、筆の持ち方に気をつけて、これまでの学習を生かして書くことを理解することができる。 ○筆使いや文字の中心に気をつけて、字形を整えて書くことができる。	B ：書きぞめの姿勢や筆の持ち方、筆使いについて理解している。 これまで学習した筆使いや文字の中心に気をつけて書いている。	B ：書きぞめの姿勢や筆の持ち方について考えている。	B ：書きぞめに関心をもち、書こうとしている。 他の学習場面でも、よい姿勢や持ち方で、字形を整えて書こうとする意識をもっている。
点画のしゅるい	○3年生で学習した基本点画について確かめることができる。	B ：これまでに学習した「点画の種類」について理解している。		B ：3年生で学習した基本点画について確かめている。 他の文字でも、基本点画に気をつけて書こうとする意識をもっている。
8 学習のまとめ 『光』	○これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで、意欲をもって書くことができる。 ○自分の選んだめあてに気をつけて書くことができる。 ○これまで学習したことを生かして、硬筆で書いて確かめることができる。	B ：これまで学習した筆使いや字形について理解している。 これまで学習したことを生かして、筆使いや字形に気をつけて書いている。	B ：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んでいる。	B ：これまで学習したことを生かして、自分のめあてを選んで書こうとしている。 硬筆の学習でも、字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【知りたい 文字の世界】 「手書き文字」と「活字」	○手書き文字と活字の違いに気づき、文字に対する興味・関心を高めることができる。 ○日常生活のなかで見られる活字と手書き文字について、話し合うことができる。	B ：手書き文字と活字の特徴がわかる。	B ：手書き文字と活字の違いについて話し合い、考えている。	B ：手書き文字と活字の違いに気づき、文字に関する関心を高めている。 手書き文字と活字の特徴について、意欲的に調べようという意識をもっている。
【知っておこう】 ローマ字表	○ローマ字の書き方を知り、興味・関心をもつことができる。	B ：ローマ字の字形について理解している。		B ：ローマ字の字形を確かめている。 常にローマ字の字形を確かめようとする意識をもっている。
【書いて つたえ合おう】 メモを取ってまとめよう	○書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもつことができる。	B ：メモの書き方を理解している。 大事なことを聞きのがさないようにメモを取っている。 読みやすく書くための方法について理解している。 メモをもとに伝えたいことをまとめている。	B ：大事なことをおさえてメモを取る工夫について考えている。 読みやすく書くための方法を意識して、まとめたものを見直している。	B ：書写で学習した内容を、他教科での学習や日常生活にも生かしていく意欲をもっている。
【漢字表】 三年生で学習する漢字 二年生で学習した漢字	○2年生で学習した字形の整え方、筆順などを確かめることができる。 ○3年生で学習した字形の整え方、筆順などを確かめることができる。 ○巻末漢字表を活用した漢字の仲間分けの活動を行ったり、筆順をまちがえやすい漢字について確かめたりすることができる。	B ：同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字の仲間分けについて理解している。 同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字の仲間分けをしている。	B ：これまで学習した字形の整え方、筆順について考えている。 同じ点画をもつ漢字、同じ組み立て方をもつ漢字など、漢字の仲間分けについて考えている。	B ：巻末漢字表を使った漢字の仲間分けの活動や、漢字の成り立ちについて、関心を高めている。 他の学習場面でも、筆順や字形に気をつけて書こうとする意識をもっている。
【ひらがな表】 【かたかな表】 【やってみよう】	○平仮名、片仮名の筆順や字形を確かめることができる。	B ：平仮名、片仮名の筆順や字形について理解している。		B ：平仮名、片仮名の筆順や字形を確かめている。 常に平仮名、片仮名の筆順や字形を確かめようとする意識をもっている。